

JAくしろ丹頂 広報誌

自穩可應路から望む目の暗

	ONIENIS		
0	新年のあいさつ(代表理事組合長 瀧澤 義一)		- 1
0	新年のあいさつ(北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章)――		2
•	新年のあいさつ(代表理事専務 成田 俊英)――――――――――――――――――――――――――――――――――――		3
0	普及センターだより ――――		4
0	組織機構図 —————	5 ·	6
	在始休業予定表 ————————————————————————————————————		7

代表理事專務 成田 謹んで新春のお慶びを申し上げます 田 植 梶井 田 原 大和田克清 俊英 役職員一同 答審 光兵 時 通晴

ほ



釧路丹頂農業協内組合 新年を迎えて

代表理事组合長 龍澤

えられました事、心からお慶びを申し上げます。 平成二十二年の輝かしい新年を組合員皆様、ご家族お揃いで迎謹んで新年のお慶びを申し上げます。

らないよう新年にあたり祈念する所であります。いる証なのかもしれませんが、この様な異常気象が例年の事とな収や品質の低下にみまわれました。温暖化が年々着実に進行して続であり、当地域に限らず北海道農業全体が、農作物の大巾な減昨年の当地域の天候は、春先の一時期を除いては低温長雨の連

した批判的決断は、非常に大きいものでありました。であった自民党が大敗し、民主党連立政権・鳩山内閣が誕生しまはオバマ大統領の誕生、我が国では八月の総選挙で長く政権与党天候のみならず政治経済も世界的に激動を続けており、米国で

もその対応に追われた昨年後半でありました。と共に危ういものになってきておりますが、農業・農協にとって新政権が選挙対策に掲げたマニフェストの実行が、月日の経過

議や宣言をしたところであります。の復権・地域の再生・JA経営の変革〟の実現実践の為の大会決「大転換期における新たな協同の創造」とし、副題として〝農業十月八日に開催された第二十五回JA全国大会のスローガンは

さて、毎年新年のご挨拶と共に今年の生乳生産の見通しなどを さて、毎年新年のご挨拶と共に今年の生乳生産の見通しなどを ない状況であります。 の他周辺関連する対策事業等は行政刷新会議の事業 りますが、その他周辺関連する対策事業等は行政刷新会議の事業 りますが、その他周辺関連する対策事業等は行政刷新会議の事業 がますが、その他周辺関連する対策事業等は行政刷ができしたが、今年は明確に報告できない状況であります。 でありますが、その他周辺関連する対策事業等は行政刷ができない状況であります。 ない状況であります。

と考えています。年実績維持とすると、乳価の若干の減少は容認せざるを得ないかない事をお詫びするしかありません。予測としては、生産量を前す必要がありますが、この文を記している時点では、それができす必要がありますが、この文を記している時点では、それができず必要がありますが、この文を記している時点では、それができず必要がありますが、この文を記している時点では、手側と生産目標数量や販売単価等を示されば、

ます。 経営を守り、生活の安定向上につながるよう懸命の努力を傾注し経営を守り、生活の安定向上につながるよう懸命の努力を傾注し目指し、中期経営計画に沿って役職員一丸となり、組合員皆様のとなりますが、釧路丹頂農協が合併時に掲げた基本理念の実現を今年も又、酪農を取り巻く環境極めて厳しい所からのスタート

道は必ず開きます。 人一人が農協に結集し、その組織力をもって立ち向えば、希望の組合員皆様も希望を持って新年を迎えられた事と思います。一

年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。 新年にあたり、ご家族お揃いで無病息災、平穏無事、幸多き一



飛 田 稔章

二年の新春を家族とともに迎えられたことを心からお喜び申し上 組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成二十

果となり、その被害総額は約六○○億円の見込みとなりました。 米の作況指数八十九になる等、総体的に平年作を下回る厳しい結 道など関係団体と連携して、組合員の営農と生活の安定に向けて 成二十一年度北海道農業団体冷湿害等対策本部」を設置し、北海 JAグループ北海道といたしましても、関係団体を含めた「平 昨年の本道農業は、夏の長雨と日照不足などの天候不順により、

経済混乱の影響を脱しきれない状況にあります。 回る高い水準にあり、依然として、世界の金融危機に端を発する より春先以降の持ち直しの動きがあるものの、失業率が五%を上 わが国の景気は、 国内外の政策発動を主因とする効果に 諸対応を行っているところであります。

基本計画の見直し、 は大転換期を迎えております。 域農業の構造変化が続く中で、農地制度改革や食料・農業・農村 また、北海道農業は、農業者の高齢化と担い手の不足など、地 戸別所得補償制度の導入検討など、農業政策

関連産業、 動きが模索されており、その決着如何では北海道農業はもとより、 おります。 さらに、WTO農業交渉やEPA・FTA交渉の決着に向けた 地域経済にも深刻な影響をおよぼすことが危惧されて

> 立場から、今後も、全国のJAグループや道内の経済・消費者団 体などと連携し、あらゆる対応を図ってまいります。 このため、JAグループ北海道といたしましては、断固阻止の

保有する潜在能力をフル発揮して、農業者が農業生産に意欲的に 発揮により、 取り組むことができるための農業所得の拡大に取り組む」ととも 地北海道を自負するJAグループ北海道として、「北海道農業が 同の力で築く『あすの食をささえる北海道農業』」を主題とし、 りに向けて取り組むこと」を決議しました。 に、「JAと組合員の強固な結びつきのもと、多様な事業機能の 組合員がJA運動の主人公であることを再確認し、日本の食料基 こうした中、昨年開催した第二十六回JA北海道大会では、「協 組合員・地域住民のみなさまに利用されるJAづく

針であり、 な事業機能を有するJAとなることを目指すものでありますので らうための取組みであり、また、JA経営においては、経営の健 安定供給を通じて、消費者の皆さんが、北海道農業を応援しても プを図り、食料自給率の向上に寄与し、安全・安心な農畜産物の 全JAでの取組みが求められるものであります。 全化と強靭な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度 この決議事項は、向こう三ヵ年におけるJAが取り組むべき指 その実践を通じて北海道農業がさらなるステップアッ

員の皆さんをはじめ役職員が『一人は万人のために、万人は一人 展が、私ども農業界に与える影響が懸念されますが、 を強め、 できるものと確信しております。 のために』という協同組合の理念をより所にして、JAへの結集 最後に、金融不況による景気の低迷や、WTO農業交渉等の進 協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開 全道の組合

から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。 本年は災害がなく豊穣の出来秋を迎えることができますよう心

新年にあたり 釧路丹頂農業協因组

代表理事專務 成 Ð

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

を縫っての収穫作業により水分の多い飼料となり、収量的にも少 思います。昨年は、春先よりの天候不順で、デントコーンの作付 収となり、近年にない厳しい一年でありました。 ない結果となりました。また、秋のコーンも全体に二割ほどの減 のサイレージ作業になりましたが、好天には恵まれず、雨の合間 けの遅れや、牧草の生育の遅れなど、心配しながら六月の一番草 組合員の皆様には、希望に満ちた二千十年を迎えられたことと

単年度の組勘内容は昨年よりプラス方向で推移しましたが、一昨 賜物と感謝申し上げます。乳価も三月に二度目の期中改定があり、 年の穴埋めにはなっていないのが現実です。 で取引され、一部廃用牛・黒毛和牛など肉用牛の下落などもあり、 十月まで久しぶりの八十二円前後の価格で推移し、初妊も高価格 三千五百トンを確保出来ましたことは、組合員の皆様の御努力の 画時点の数量には届きませんでしたが、前年対比百二%の約十万 そんな中、JAくしろ丹頂の生乳生産は、一~十二月で営農計

に下落(二十二年一~六月積みのオセアニア産輸入チーズは四十 のチーズでの処理以外にないと決断し、十月より下期のプール乳 ンの在庫になっています。昨年夏より在庫問題が表面化し、生乳 況のなか、十月時点でバターが三万三千トン、脱粉が五万三千ト 少、低価格へのシフトなどにより、デフレになりつつある経済状 動が世界中で広まり高額商品市場は一気に小さくなり、消費の減 減少と雇用の不安、将来の不透明感により、生活防衛型の消費行 でめまぐるしく変動しております。この不況のなか、個人所得の 原油の上昇、金価格の高騰、円高(ドル安)など、世界は短期間 つありました。しかし外国産は、一昨年の高値から一転半値近く で二円四十銭下げてまでも、処理せざるをえない在庫になりつ 国内外を見渡しても、アメリカ発の不況から脱しきれない今、

> とエネルギーが必要になりそうであります。 までの決定プロセスが新たな形に見えてくるには、 乳の価格を下げたことによるチーズ生産が、順調に進むことを乳 見えない今日、政権交代という現実のなか、道東農業の柱である 業各社に切望します。今年の乳価については、いまだに方向すら 影響を注視していかなければならないと思います。チーズ向け生 ズ向け乳価の大幅な下げになったことは、今後の北海道酪農への 酪農や肉牛(畜産)の振興政策が示されないことが問題です。今 五%値上り) したなかで、国産チーズの生産にシフトしていただ 価格の引き下げを決断せざるを得ない状況でした。チー かなりの時間

る環境を、自ら作り上げることが必要であります。 は右肩上がりに推移はしません。JA北海道大会決議のフル発揮 るなか、日本国内の消費パイの大きさと、質を見てもこのままで どとの再編などにより、海外への取組みが現実身を帯びてきてい 考えます。又、これからの北海道酪農を考える時、 展をめざし、あらゆる政党と対応をしていかなければならないと のしがらみや固定概念を打破し、北海道農業の力をフル発揮でき できる体制や、 の枠組みがぜひとも必要になります。系統外のメーカーの食品 産の五十%以上を生産する大生産地域として、オール北海道体制 農協の立ち居地は、常に農家の利益と組合員の幸せと地域の発 制度設計を全道の段階で作り上げること、今まで 日本の生乳

ご理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。 協は酪農が主でありますが、黒毛和牛につきましても価格下落な しい食材であることで活路をみいだしたいものです。釧路丹頂農 がらも、 スピード感をもって対応したいと思いますので、組合員の皆様の より頭数が少なくなりましたが、努力している現状にあります。 がらも販代で二億円をめざしていますし、馬産地としても一時期 JAとしましても、農協事業で最も重視しています営農指導事 北海道農業は、日本の食糧基地ばかりか東アジアを中心にしな 世界にもアピールできるだけの安全・安心、そして美味 適切な職員の配置と資質の向上に全力であたることと、

祈念し、新年のご挨拶といたします。 援、ご協力をお願いいたしますとともに、ご家族皆様のご多幸を 最後になりましたが、本年も組合員、各関係機関の皆様のご支

ぴぜ

ラ

ブ

みなさんが

自 子

しがH

牛

乳 0

は、

作ってみょ新年特別企画

特別にお届 お たします。 別企画といつもは酪 今年もどうぞよろしくお けましておめでとうござ います。 して牛乳料理を紹介いますが、今回は新晨技術に関する情報 願い

介新報

搾った牛乳をもっし ら考案したお菓子 です。作り方を町 内外で紹介し、消 費拡大活動を展開 しています。 牛乳をたっぷり 使い、手軽に作れ るのが魅力です。 つるんとした食感 が楽しい「牛乳も ち」、ぜひお試し 弟子屈町4日クラブ考案 日分たち 日曜町4日

材料(4~5人分)

牛乳······500ml 片栗粉……大さじ2 上新粉……大さじ1/2 コーンスターチ……大さじ4 グラニュー糖……30~50 g 氷······500 g お好みで黒蜜、練乳など (1人前50g当たり59kcal 黒蜜をかけるとプラス60kcal)



作り方

- ①すべての材料を鍋に入れてよく混ぜる
- ②中火にかけて、ひたすら混ぜる
- ③もち状に固まってきたら、焦げないようにそのままよく練る(約1分間)
- ④火からおろして、そのまま2分くらい練る
- ⑤氷水を張ったバットに直接あけて平らにならし、中心までよく冷やす
- ⑥冷えて固まったら一口大に切り、できあがり

感想をお聞かせください 「作ってみたよ」という方は、 ぜひ感想をお聞かせください。

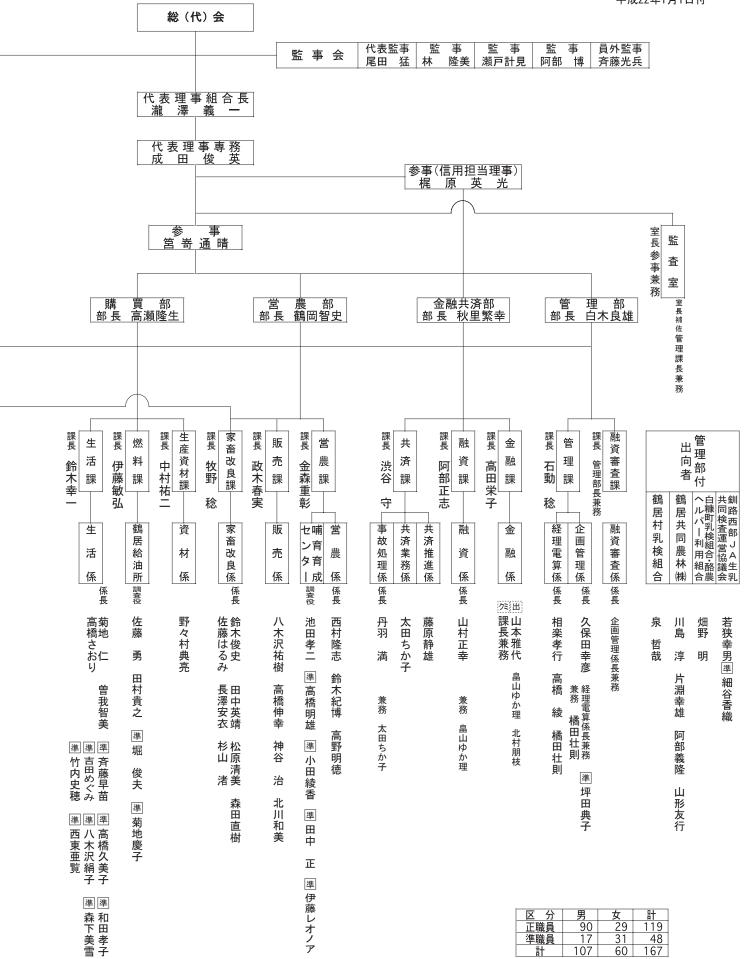
釧路農業改良普及センター 釧路中西部支所

TEL 0154-57-3460 FAX 0154-57-4702

メールアドレス xksrchu@agri.pref.hokkaido.jp 失敗しないためのコツ

- ・上手に作るコツは、よく練ること。 焦がさないようによく混ぜます。
- ・焦げるのを気にして弱火にすると、 上手くできません。
- ・氷水に入れた後は、均等な厚さにな るように平らにします。 このとき牛乳もちの熱で水がぬるく なると、もちが溶けます。氷を使っ て良く冷やしましょう。

(資料提供:弟子屈町4Hクラブ)

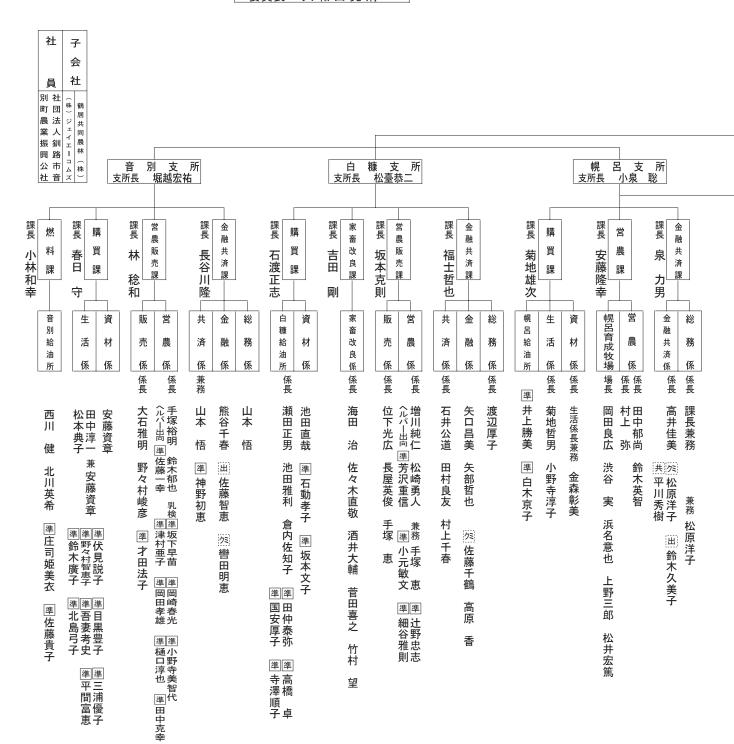


JAくしろ 丹 頂 組 織 機 構 図

瀧澤義一 成田俊英 大和田克清 大硲理男 井出清澄 地区代表理事 地区代表理事 学識経験理事 高橋達雄 斉藤 滋 對木範誉 芳沢改治 松井俊治 植田晃雄 田井 愃 梶原英光 理 事 会

> 管理金融共済委員会 委員長 對木範營

営農経済委員会委員大硲理男



6

刷

JAくしろ丹頂 年始休業予定表

部門	各地区の事務所				販 売				高改良		~I	哺育育成		幌 呂	
年月日	管理・共済	金融	営	農鶴居	・幌呂	白 糠	音 別	鶴月白料	居・幌呂 糠・音別	生	乳	センター		育成牧場	
平成22年1月1日金											· 通	常	業	務	
1月2日生)															
1月3日(日)								業	き 務始め						
1月4日(月)	1月4日(月)		業務始め												
1月5日火					務始め 上集荷										
1月6日(水)	1月6日(水) 業務始め		業務始			業務始め 初生集荷	業務始め								
1月7日休					定期市場(初セリ		ין)								
1月8日金							初生集荷	î		,	V	,	V	,	V
	購 買 · 鶴 居				購 買 · 幌 呂 購買					購買・音別					
	購り	買・鶴	居	購	買·	幌 呂	購	買・白	白糠		購	買 ·	音	針 別	
	購 5 生活店舗	置 · 鶴 給油所	居 資 材	購 生活店舗	T					生活		買 · 給油			材
平成22年1月1日金					T							I			
平成22年1月1日金 1月2日(土)					T							I			
					T	所 資 林						I			
1月2日(出)	生活店舗	給油所			給油	所 資 林		所 う	資材		店舗	I	由所		
1月2日(土)	生活店舗	給油所			給油	所 資 林	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	所 う	資材	生活)	店舗	給油	由所		
1月2日(土) 1月3日(日) 1月4日(月)	生活店舗	給油所			業務始	所 資 林	業務好年後6時	所 3 iめ まで	資材	生活) 業務が 午後6日	店舗	給油	由所		材
1月2日(土) 1月3日(日) 1月4日(月) 1月5日(火)	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	業務始	所 資 本	業務好年後6時	所 3 iめ まで	資材	生活) 業務が 午後6日	店舗	給油	由所	資	材

*午前中のみ営業

日 休 業 日 営

・万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル(画0120-25-8931)に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、中村(☎64-2954)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸(全57-8388)に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、菊地(全65-2207)に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、菊地(全65-2207)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、北釧運輸(☎23-7680)に連絡し て下さい。

◆白糠地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、石渡(自宅☎2-3515携帯090-3396-0623) に連絡して下さい。
- ·給油スタンドに関することは、給油所(☎2-2084)に連絡して下さい。 ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸(☎0154-57-2777)に 連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ

- ・Aコープは1月4、5日は午後6時までの業務となります。 ・生産資材に関することは、春日(☎6-2020)に連絡して下さい。

緊急以外はご容赦下さい。

	□新しい年を迎えるにあたり、皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。
/= # // ==	□表紙の写真は、釧路空港から白糠町庶路方面へぬける道にある高台から写した日の出で、大変景色の良い場
編集後記 FDITOR'S NOTE	所ですので、皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。
	□私達を取り巻く農業情勢が刻々と変化し続けていく中で、今年も気を引き締め、新たな気持ちでスタートし

ていきたいと考えております。本年も「丹頂だより」をよろしくお願い致します。